

報道関係各位

2021年3月29日  
株式会社センシンロボティクス

## ドローンを用いた送電設備自動点検技術の実設備での検証を実施 -鉄塔と架渉線を一括で自動点検、安全かつ短時間に設備の健全性を確認-

ロボティクス×AIで社会課題の解決を目指す株式会社センシンロボティクス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：北村卓也、以下「当社」）は、送電設備のメンテナンス業務にドローンを活用すべく、送電設備自動点検技術を開発し、実設備での検証を実施しました。

送電設備のメンテナンス業務においては、定期的に作業員が鉄塔に昇って点検を行い、設備の健全性が確認されていますが、工具を持って高所まで昇るために作業員の負担が大きく、また人手や時間がかかる作業でもあり、改善が求められていました。

今回、標準的な送電設備を対象に、ドローンと設備の間の安全な離隔距離を確保したうえで、設備異常が判別可能な画像を撮影するルートおよびカメラアクションを自動作成する技術を確認しました。当社が保有するドローン運行制御ソフト「SENSYN FLIGHT CORE」と中部電力パワーグリッド株式会社と共同開発した送電設備自動点検技術を組み合わせることで、鉄塔（支持物・がいし）と架渉線（架空地線・電力線）を一括で自動点検することが可能となりました。なお、センシング技術を新たに搭載する等の機体カスタマイズは施さず、市場に流通している一般的なドローンを使用しています。

また、「SENSYN FLIGHT CORE」は様々なドローン・ロボティクスデバイスに対応可能かつ、データをクラウド管理・共有することも可能です。この送電設備自動点検技術を活用することにより、作業員が鉄塔に昇ることなく、安全かつ短時間に設備の健全性を確認することが可能となり、作業環境の改善や点検コストの削減が実現できると考えています。

今後、大型設備を対象とした自動点検技術の確立も平行して進め、適用範囲の拡大を図っていきます。

### 【実地検証概要】

日時	2020年6月5日（金）～2021年2月26日（金） 計6回
場所	中部電力パワーグリッドの77kV送電線（愛知県知多郡阿久比町他）
検証内容	・設備異常が判別可能な撮影条件の検証 ・自動点検アルゴリズムの検討 ・試作アルゴリズムでの実地検証



自動飛行撮影の様子

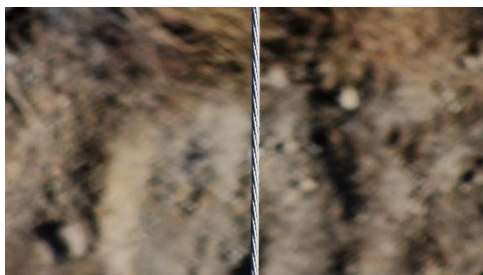
支持物



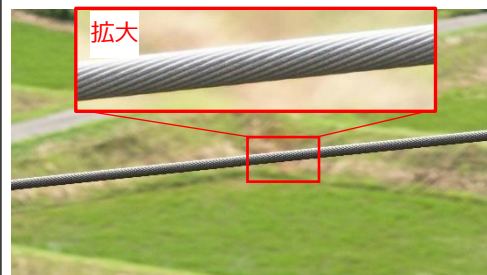
がいし



架空地線（直上から撮影）



電力線（側方から撮影）



自動飛行撮影画像例

# News Release



【会社概要】 <http://www.sensyn-robotics.com>

当社は『ロボティクスので、社会の「当たり前」を進化させていく。』をミッションに掲げ、企業や社会が抱える課題を、ドローンをはじめとするロボティクス技術で解決する社会インフラ DX のリーディングカンパニーです。

豊富なプロジェクト実績で得られたノウハウを活用し、シナリオ策定から実証実験、実業務への定着化まで一気通貫で支援、老朽化する産業インフラや社会インフラの点検や、少子高齢化による労働人口の減少、激甚化する災害対策といった社会課題の解決を目指します。

本社所在地：東京都渋谷区恵比寿二丁目3 6 番 1 3 号 広尾MTRビル7階

設立：2015年10月

代表：代表取締役社長 北村卓也

---

【報道関係のお問い合わせ先】

株式会社センシンロボティクス

CS&マーケティング部 広報担当：妹尾

TEL：080-2169-5823 E-mail：[m-senoo@sensyn-robotics.com](mailto:m-senoo@sensyn-robotics.com)

「FLIGHT CORE」は、株式会社センシンロボティクスの登録商標です。

本書面に記載されている会社名、製品およびサービス名は、各社の登録商標または商標です。